

葛藤する心の中で育つこと

園長 篠澤 恵理

子どもたちは、幼稚園で自分の好きな遊びを見付け、自分なりに考えながら「こうしたい。」という思いをもって遊ぶ姿が見られます。一緒に遊ぶ相手に、自分のやりたいことを言葉で伝えたり、動きや表情で表したりしています。

時には、友達と一緒に遊ぶうちに意見が異なり、喧嘩になることや、遊びから抜けることもあります。「本当は、こうしたいのに。」などと思いつつも、どう伝えたらよいのか分からずに黙ったり泣いたりして、思いを伝えられない姿も見られます。子どもたちの心の中は、もどかしさや怒りなどの様々な気持ちで葛藤しています。一人一人が、自由に遊ぶことを選んで、思いのままに動いていくことは、同じように近くで遊んでいる友達の遊びも尊重しながら過ごしていく必要があるため、人と関わる力が育つための大切な場面でもあります。

幼稚園では、子ども同士の意見が異なる時には、その時の状況や互いの気持ちを具体的に聴き取っています。何故そうなったかを一緒に振り返り、心にためている思いを言葉にして橋渡しをしています。相手に「伝えた」「伝わった」と思い込んでいることも、伝わっていないことも多いので、どうすれば伝わるかについても確認しています。

子どもの感情が高ぶっているときには、「場所」「人」「物」「こと」などの状況を変えると、子どもたちが立ち止まって自分の言動を振り返るきっかけになることがあります。「違う部屋に行って話す。」「別の人が話す。」「これもありますよと、別の物を見せる。」「お茶を飲んだり、深呼吸をしたりする。」など、気持ちを落ち着かせる機会をつくるということです。子どもたちは、自分の心の中で揺れ動く様々な感情を振り返り、自分の気持ちを受け止めてもらえたと実感すると、気持ちが落ち着き、相手の思いにも目を向けようとしています。思い通りにならないことがあって葛藤しながらも、気持ちを整えながら思いを伝え、時には我慢したり折り合いを付けたりして自分でどう行動すべきかを考えていく過程を支えたいものです。子どもたちが、自分から気持ちを切り替えた時の、小さな成長も見逃さずに言葉に表して認め、一年間の心の育ちを実感できる日々になりますように。



えがおにこにこコーナー

一年の最後の月になりました。保護者の皆様には、幼稚園の教育についてのアンケートにもご協力いただきまして、誠にありがとうございます。地域の皆様にも、たくさんのお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。今年も、えがおにこにこの園生活となりました。園児の笑顔や元気を糧に、よいお年をお迎えください。

【梅木小学校・うめのき幼稚園音楽会】

【園で育てたポップコーン作り】

【焼き芋パーティー】



音楽会では、舞台の上で元気に歌いました。小学生の美しい歌声や迫力ある演奏に大感激！憧れのまなざしでした。園に戻ってからは、保護者と遊んだり、ポップコーンを食べたりして、楽しい一日となりました。

園庭の落ち葉を集めて、焼き芋パーティーをしました。焚き火に焼き芋を投げ入れるときは、運動会の球投げ競技の経験が生かされてとても上手でした。来年も、楽しい！嬉しい！美味しい！園生活を計画してまいります。